

機械システム工学科

准教授 浅岡龍徳 热制御に向けた相変化材料PCMの開発 p. 46-57.
と応用 第I編（分担執筆） シーエムシー出版, 2024. 4,
ISBN 978-4-7813-1799-1

5. 発明・特許

職名	発明者等	題目	特許公報
物質化学科			
教授	新井 進	鉄合金めっき方法及び鉄合金めっき液	登録番号 : 7541348
准教授	清水 雅裕		(2024. 8. 20)
教授	天野 良彦	食品物性改良剤およびその製造方法、並びにそれが配合	特願2024-145926
准教授	水野 正浩 ほか 2 名	された食品	
准教授	水野 正浩	土壤改良剤の製法	特許第7571956号
教授	天野 良彦 ほか 2 名		
准教授	水野 正浩	植物由来断片の結着方法、植物由来断片結着組成物、植	特願2024-157189
教授	天野 良彦	物由来断片成形体、および植物由来断片形成体の製造方 法	
教授	手嶋 勝弥	酸化物系固体電解質、2種混合固体電解質、及び全固体	特願2025-024400 (P24064)
助教	山田 哲也	リチウムイオン電池	
総合理工学専攻物質創 成科学分野博士課程			
1年	喜多 由紀 他 1 名		
助教	佐伯 大輔 他 2 名	選択性透過膜および水処理方法	特許第7491040号
電子情報システム工学科			
教授	小林 一樹 他 8 名	鳥獣追払いシステム、鳥獣追払い方法及びプログラム	特願2024-062876
教授	田久 修	無線通信ネットワークにおける隠れ端末推定方法	特願2025-013516
総合理工学研究科工学 専攻修士課程			
2年	水野 将大		
教授	田久 修	無線通信ネットワークにおける周波数のリソース割り当	特願2025-027725
4年	南條 孟	て方法	
教授	宮地 幸祐	発振器及びコンバータ	特願2024-146474
総合理工学研究科工学 専攻修士課程			

2年 准教授 准教授 准教授 准教授 教授 准教授	角田篤哉 阿部 誠 佐藤光秀 佐藤光秀 佐藤光秀 佐藤敏郎 曾根原 誠	光電容積脈波を用いた血圧推定方法および血圧推定用コンピュータプログラム 複合磁性材、複合磁性体、回転電機用コアと、複合磁性体の製造方法 可変磁束型回転電機 冷却配管及び冷却配管を有するモータ 熱音響発電システム ナノ結晶磁性材料の製造方法、ナノ結晶磁性材料およびナノ結晶磁性材料用成形体	特許第7570631号 特願2024-095554 特願2024-201431 特願2025-006491 特願2025-007199 特許第7575649号
他 1 名			
他 2 名			
他 3 名			
他 1 名			

水環境・土木工学科

教授 准教授 准教授	小松一弘 竹内健司 竹内健司	フミン物質の回収方法及び回収装置 複合逆浸透膜及びその製造方法 複合半透膜	特許第7474524号 特願2024-134955 特願2025-40096
他 2 名			
他 2 名			

機械システム工学科

准教授	飯尾昭一郎	発電装置	特願2025-032794
-----	-------	------	---------------

6. 口頭発表**国際学会****物質化学科**

Keito Yamamoto, Susumu Arai, Masahiro Shimizu

Intercalation of solvated Mg^{2+} into graphite as a negative electrode. Abstracts of PRIME2024, Z01-4551, 2024.

Keito Yamamoto, Susumu Arai, Masahiro Shimizu

Addition effect of crown ether on intercalation of solvated Mg^{2+} into graphite interlayers. Abstracts of PRIME2024, A09-1365, 2024.

Masahiro Shimizu, Daisuke Nishida, Ayaka Kikuchi, Susumu Arai

Rutile TiO_2 as a negative electrode material for proton rechargeable batteries. Abstracts of PRIME2024, A06-0759, 2024.

Tomohiko Okada

In situ growth of hydrated silicate layers for cosmetic and optical applications. International Conference on Nanospace Materials 2024 (Nanospace-2024-Thailand). VISTEC 2024.

Hiromasa Nishikiori, Yosuke Kageshima, Katsuya Teshima

Utilization of fluorescein dye as a probe molecule on photocatalyst surface, 29th PhotoIUPAC Symposium on